

# 半田市若者市民協働意識醸成事業

## がっ 「学！コラボ 2025」

### 事業実施報告書

#### 目次

1. 若者市民協働意識醸成事業	P 1
2. 「学！コラボ2025」とは	P 2
・開催概要、参加NPOの概要	P 3
・協賛企業ご紹介	P 4
・開催実績	P 5
3. 参加NPO協賛金活用状況	P10
4. 「学！コラボ2025」校内実習	P14
5. アンケート	P18

# 若者市民協働意識醸成事業

## 【目的】

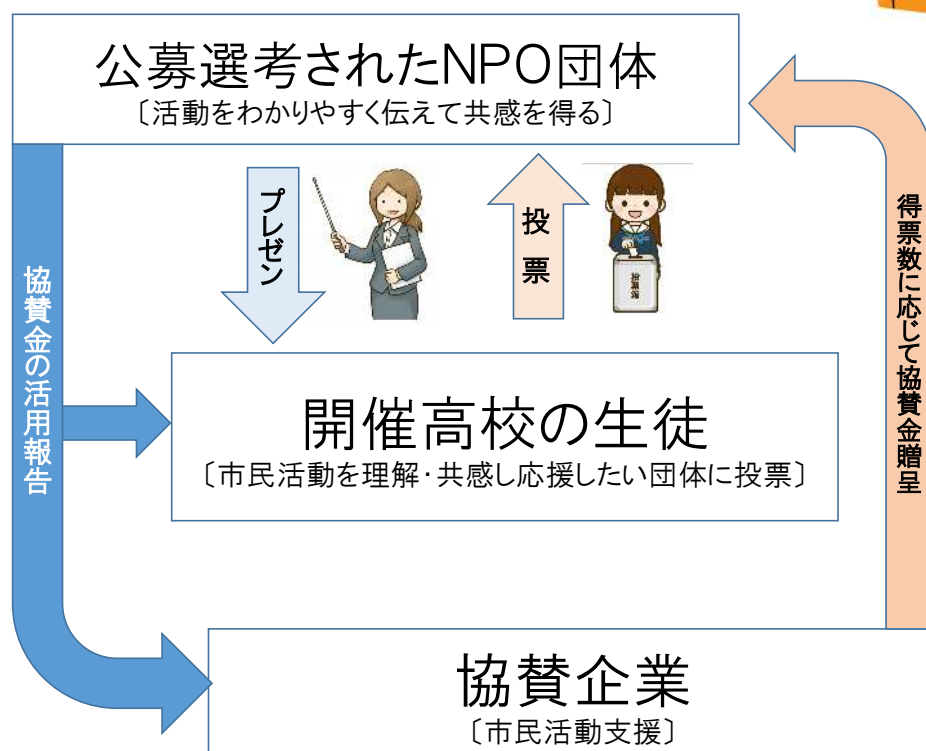
次代を担う若い世代(高校生)を対象に、市民活動の実態や活動支援の方法を理解してもらい、市民協働や社会貢献活動への参加につながるよう、協働意識の醸成を図ることを目的としています。

## 「学！コラボ2025」とは

参加NPOの活動が若い世代（高校生）にも「伝わる」「共感を得る」ためにプレゼン能力向上研修を受け、半田市内の高校でプレゼンテーションを行いました。

それを聞いた高校生が「共感した。応援したい。」と考えたNPOに投票し、その得票数に応じて協賛企業から協賛金が贈呈されたほか、NPOと高校生との意見交換を行いました。

### 【学！コラボ2025のしくみ】



# 1.「学！コラボ2025」開催概要

## (1)スケジュール

場所	開催日時	参加NPO
半田商業 高等学校	10月 9日(木) 《前半》13:30～14:20 《後半》14:30～15:20	・半田災害支援ボランティアコーディネーターの会 ・おもちゃ図書館つみき ・親子のふれあいと絆を大切にする会

## (2)内 容

- 《前半》
- ・地域課題に取り組んでいるNPO、自分なら何ができるかについて講義
  - ・参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
  - ・NPOのプレゼンを聞き感じたことについて、生徒同士でグループ内にて意見交換
  - ・各自で応援したいNPOを一つ選び投票  
(得票順位に応じて協賛金額を決定)
- 《後半》
- ・投票結果発表と協賛企業の紹介
  - ・協賛企業からNPOに協賛金贈呈
  - ・NPOからお礼のことば
  - ・協賛企業からNPOと生徒に対することば
  - ・生徒代表による選定理由発表
  - ・生徒と投票先NPOとの意見交換

## 2. 参加NPOの概要

NPO名	主な活動内容
半田災害支援ボランティアコーディネーターの会	・ボランティアコーディネーターの育成並びに研修会の開催 ・災害ボランティアの啓発活動 ・各種防災行事への参加 等
おもちゃ図書館つみき	・おもちゃの貸し出しとおもちゃの修理 ・遊びの場の提供、工作教室開催 等
親子のふれあいと絆を大切にする会	・親子の面会交流支援 ・講演会の開催 ・自助、互助グループ活動 等

## 協賛企業ご紹介

いであ

### 出亜電気工業株式会社（半田市）

半田市を拠点に電気設備工事全般を手がける企業です。工場や公共施設、住宅など幅広い分野で、安全性と品質を重視した施工を行っています。地域に根ざした電気工事会社として、確かな技術力で地域インフラを支えています。



### 株式会社チェリー半田販売（半田市）

半田市において自動車販売・整備・車検などを行う企業です。地域のカーライフを支える存在として、丁寧な対応と幅広いサービスを提供しています。地元にも密着した事業活動を通じ、地域社会の発展に貢献されています。



### CTリング株式会社（半田市）

半田市を拠点に電気通信設備および電気設備の設計・施工を行う企業です。通信インフラの構築を通じて、人々の暮らしや事業活動を支えています。高い技術力を活かし、地域に欠かせない基盤づくりに取り組まれています。



### 3. 開催実績

#### (1) 参加NPO募集

募集説明会開催

日時：6月6日(金)15:00~16:00

場所：半田市市民交流センター

#### (2) NPO選考委員会開催

日時：7月4日(金)13:30~15:00

場所：半田市市民交流センター

結果：3団体選出(応募4団体)

選定の主な理由：高校生にとって、活動の必要性や意義が理解しやすい 他



#### (3) NPOプレゼンテーション研修

公募で選定された3団体に、若者(高校生)に対して、より効果的なプレゼンテーションを実施し、伝える力の向上により、資金調達の向上にもつながるよう研修を行いました。

①全体研修：8月22日(金)10:00~12:00 オンライン(Zoom)

	内容	講師
1	ファンドレイジングとは 事例紹介、自団体の整理	山崎 恵美子氏 (日本ファンドレイジング協会東海チャプター)
2	共感するプレゼンテーション 「伝える」から「伝わる」資料づくり	別所 大介氏 (NPO法人中部プロボノセンター)

②個別研修：9月3日(水)13:00~15:00 半田市市民交流センター  
9月6日(土)17:00~18:00 同上

月日	時間	NPO名
9/3(水)	13:00~14:00	おもちゃ図書館つみき
	14:00~15:00	半田災害支援ボランティアコーディネーターの会
9/6(土)	17:00~18:00	親子のふれあいと絆を大切にする会

個別研修は1団体ごとに、全体研修でのプレゼンテーション資料作成のレクチャーに従い、それぞれが作成した資料を基に行われました。プレゼンテーションを実践しながら、全体の構成や言葉の選び方など、高校生により伝わるプレゼンテーションとするための研修を受けました。

①全体研修(オンライン)



②個別研修



## (4)「学！コラボ2025」開催

開催日時:10月 9日(木)13:30~15:20 【50分×2コマ】

開催場所:愛知県立半田商業高等学校 体育館

参加者数:1年生 184名

### 【前半：13:30~14:20】

- ◇ 地域課題に取り組んでいるNPO、自分なら何ができるかについて講義
- ◇ 参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
- ◇ NPOのプレゼンを聞き感じたことについて、生徒同士でグループ内にて意見交換
- ◇ 各自で応援したいNPOを一つ選び投票(得票順位に応じて協賛金額を決定)

NPOと社会貢献の両輪について、NPO法人中部プロボノセンターの大須賀事務局長による基礎講義が行われた後、NPO3団体によるプレゼンテーションが実施されました。

その後、生徒たちはグループに分かれ、意見交換をしました。最後に生徒が応援したい団体を決め、その場で投票しました。

基礎講義



グループでの意見交換



投票



## 参加NPOプレゼン

### 半田災害支援ボランティアコーディネーターの会（岡本 勝彦氏）



#### 災害に対応できる人づくり

##### ☆災害時に対応する「災害ボランティアコーディネーターって何だろう？」

- ・災害発生時、災害ボランティアセンターでスタッフとして活動できる人である
- ・防災・減災の知識を広め、命を守り、早期復興につなげられる人である

##### ☆災害ボランティアコーディネーターの育成

- ・養成講座を開催し、災害時に活動できる人を育てる
- ・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練や災害現場へボランティアとして参加し、いざという時に備える
- ・幼稚園・保育園・小中学校、地域施設、企業・団体での防災教室や救命講習を行い、多くの人に災害への備えを知ってもらう

### おもちゃ図書館つみき（松見 直美氏、前田 稔氏）



#### おもちゃ図書館つみき 付属おもちゃ病院

##### ☆壊れたおもちゃ！どうしてる？

- ◇半田市では、年間約3,000個のおもちゃが捨てられている。つみきのおもちゃ病院の修理実績は、わずか10%である
- おもちゃ修理活動の拡大が急務！

##### ☆おもちゃ病院の存在をもっと知ってほしい

- ◇親子参加型の定期的な修理ワークショップを開催する
- 「おもちゃを直す楽しみ」を親子で共有する
- 若い人たちとの協働を進め、地域の活性化に貢献する
- おもちゃドクターの養成や充実を図る
- ◇市内の色々なイベントに企画・参加して、活動をPRしていく

### 親子のふれあいと絆を大切にする会（志水 久男氏）



#### 面会交流支援をします！

##### ☆面会交流ってなあに？

- ・様々な理由や事情によって会えない親子が、定期的、継続的に会って話をしたり、一緒に遊んで過ごしたり、電話などで交流すること
- 主人公は、常に子どもたち

##### ☆日本の離婚の現状

- ・3組に1組が離婚、2分間に1組が離婚
- 離れて暮らす親と縁の切れていく子の数は推定10万～13万人/年間

##### ☆面会交流支援とは

- ・第三者の援助(後押し)があれば面会交流が実現可能
- ・パパに会いたいなど、子どもの願いをかなえたい！
- 夫婦は別れても親子は親子

## 【後半：14:30～15:20】

- ◇ 投票結果発表と協賛企業の紹介
- ◇ 協賛企業からNPOに協賛金贈呈
- ◇ NPOからお礼のことば
- ◇ 協賛企業からNPOと生徒に対することば
- ◇ 生徒代表による選定理由発表
- ◇ 生徒と投票先NPOとの意見交換

### 《協賛企業よりNPOに目録贈呈》

半田災害支援ボランティア  
コーディネーターの会と協賛企業



おもちゃ図書館つみきと  
協賛企業



親子のふれあいと絆を大切にする会と  
協賛企業



投票した理由を発表する生徒



投票したNPOに質問したり、補足説明を受けたり、意見交換する生徒



## 投票結果

NPO名	人数(人)	協賛金(円)
半田災害支援ボランティアコーディネーターの会	66	50,000
おもちゃ図書館つみき	65	30,000
親子のふれあいと絆を大切にする会	53	10,000
合計	184	90,000

## 投票した生徒の声（一部抜粋）

半田   災 害 支 援 ボ ラ ン の テ ィ ア 会	身近だと思ったから。自分もボランティアで手伝いたいと思ったから。もっと広まって支援を頑張ってもらいたいと思った。
	何かあった時のために、人のためにボランティアで活動しているのがすごいと思ったから。人のために頑張っている姿を見て、尊敬した。
	今、自分が学ぶのに必要なのは、災害だと思った。
	災害が発生した際にボランティアがいかなかったり、支援がないと避難者はとても苦しい状況に立たされるから。
	災害を支援される側になるかもしれないし、一番身近で知りたいなと思ったから。
	災害時に助けが必要な時、助けてくれるのはすごく安心するので、この団体を選びました。
	南海トラフがいつおきてもおかしくない状況だから、前もって対策しておいた方がいいと思ったから。
	復興活動に力を入れているところがすごく良かったし、応援したいと思った。もし、愛知県で災害が起きても、ボランティアコーディネーターの会さんがいるのがとても心強いと思った。
災害が起こっているとき、人はメンタルがやられたりしてしまうので、その支えになりたいと思ったからです。	
半田市の安全のために、いろんな人が協力していて素敵だと思ったから。	
おも ち ゃ 図 書 館 つ み き	「おもちゃが壊れたから捨てる」という考えをへらし、子どもに物を大切にすることを教える考え方をもち、環境にもいいと思ったから。
	支援金の使い方が明確で、わかりやすかったから。直す側も直してもらう方もメリットがあつていいと思ったから。小さい頃におもちゃを壊してしまったことがあるから。
	おもちゃは子どもからしたら大事なものだし、直してくれれば子どもの時からものを大切にしようと思いはじめられるからいい。
	思い出がたくさんあるおもちゃを捨てないで直せたらうれしいし、素敵だと思った。
	自分でおもちゃを直したいと思ったことがあるから。
	一番親近感がわいたので選びました。おもちゃを買いすぎることも、捨てることも、良くないなと改めて思いました。
	30年間続けていて、今でもイベントやいろんなことに挑戦しているところに、とても頑張ってもらいたいと思った。
	思い出がたくさん詰まっているおもちゃをまた直して使えるようになったら、とても素敵なことだと思ったから。
物を大切に使うというのが、子どものころから教わった方がいいと思ったから。	
一番身近で、日常生活の上ですべて常に需要がありそうだから。	
親 子 の ふ れ あ い と 絆 を 大 切 に す る 会	一番幸せになる人が多いと思ったから。
	子どもが親に会いたいののに会えない、というのは悲しいし、十分に親の愛情を感じる権利はすべての子どもにあると思ったから。
	自分の身の回りで一番身近な問題の解決に取り組んでいる団体だから。離れてしまった親との関係が、子どもの人生は大きく変わると思うから。
	子どもはなにもしないのに、会えなくなるのがすごくかわいそうだから。
	こういう活動がもっと広まれば、親子のあり方や関わり方の幅が広まると感じたから。
	人と人との繋がりは大事だと思うから。片親だけだと、いじめの原因になったり、生まれてからずっと、もう一人の親の存在を知らないのは悲しいから。
	特に面会交流の特性が良いと感じました。なぜなら、第三者を通して、親に会わせてくれることはありがたいと思ったから。
	一番身近に感じ共感することができたから。頑張ってもらいたいと思った。
自分が最近、勉強や部活で親との会話が少なくなっていたので、大切だとあらためて思った。	
家族ですごく大切な時間を少しでも長くとりたいたいと思うから。	

# 参加NPO協賛金 活用状況

## 若者市民協働意識醸成事業「学！コラボ2025」協賛金活用状況報告

団体名	半田災害支援ボランティアコーディネーターの会
URL	無
協賛金額	50,000円

### 活用目的

今回いただいた協賛金5万円は、会員のスキルアップのためのバス研修及び活用資機材の作成費に充てます。

### 活用状況

以下を実施しました。

#### ◎バス研修

- ◇ 月 日： 令和8年2月14日(土)
- ◇ 研修場所： 静岡県地震防災センターの見学
- ◇ 内 容： 防災・減災知識の習得・確認等



#### ◎活用資機材(防災クイズ)作成

新たな大判(A1)のカラーコピーした防災クイズを作成

<p><b>問題</b></p> <p>道路が冠水している時、何を履いて避難しますか</p>	<p><b>A</b></p> <p>足が濡れてもスニーカーを履いて行く</p> <p>いいから</p>	<p><b>B</b></p> <p>足が濡れるとカセをひくから長靴を履いて行く</p>	<p><b>問題</b></p> <p>台風の前にかたづけの理由は、どちらが大切？</p>	<p><b>A</b></p> <p>だいたい物がこわれるともったいないから</p>	<p><b>B</b></p> <p>風で飛ばされて人や車に当たるとあぶないから</p>
--	--	--	---	--	--

### 今後の活動に向けたメッセージ(抱負など)

防災教室や各イベントを通じて、防災・減災に関する知識を少しでも多くの人たちに知ってもらい、「災害に対応できる人」になっていただくように継続して努力していきたいと思えます。

「学！コラボ2025」で私たちの会に興味を持っていただいた高校生の皆さんにはいつか一緒に活動できる日がくることを楽しみにしています。

## 若者市民協働意識醸成事業「学！コラボ2025」協賛金活用状況報告

団体名	おもちゃ図書館つみき
URL	<a href="https://tumiki01@exblog.jp">https://tumiki01@exblog.jp</a>
協賛金額	30,000円

### 活用目的

今回頂いた協賛金は、「親子で参加 おもちゃ修理教室」の開催に向けての工具類の購入・イベント準備等に活用させていただきます。  
3Dプリンター購入費用の一部にも充当する予定です。

### 活用状況

#### 工具類の購入



#### 「親子で参加 おもちゃ修理教室」の開催決定

##### ★開催要領

- ・開催月：2～3か月に1回の開催  
(令和8年2月開始)
- ・開催日：第2土曜日10時～11時30分
- ・開催場所：瀧上工業雁宿ホール
- ・対象は小学生とその親
- ・定員：5組(先着順)
- ・広報：まちひろメルマガ、つみきブログ等

##### ★開催目的

- ・ものを大切にする心を育てる。
- ・親子の協働体験を促進する。
- ・おもちゃの構造理解を深める。
- ・地域ボランティアの育成を目指す。

##### ★期待される効果

- ・達成感の向上が期待される。
- ・親子のコミュニケーションの促進。
- ・技術継承と地域活性化に寄与する。

### 今後の活動に向けたメッセージ(抱負など)

30年経過したボランティア活動ですが、スタッフの充実はもちろんの事、若者との交流を進め、子ども達への楽しみの提供・地域社会の活性化に努力いたします。  
「おもちゃ図書館つみき」をどんどん利用してください。

## 若者市民協働意識醸成事業「学！コラボ2025」協賛金活用状況報告

団体名	親子のふれあいと絆を大切にする会
URL	<a href="https://www.parentingtime.jp/">https://www.parentingtime.jp/</a>
協賛金額	10,000円

### 活用目的

生徒のみなさんに社会課題の「会えない親子や家族」について、より詳しい情報を少しでもお伝えしたく、11月13日(木)の校内実習にて授業をさせていただきました。そのために事情に精通し研究をされておられる広島大学法学部の高田恭子 准教授に講師をお願いする費用として活用させていただきました。

### 活用状況

『親の離婚と子ども：面会交流支援の役割』というテーマで授業をいたしました。要点は、以下の3つでお話をいただきました。

#### ◆子どもにとっての「親の離婚」

- ・親の離婚が子どもにとって「小児期逆境体験」の1つになる可能性があるのはなぜか考える
- ・親の離婚を経験した子どもたちの「声」から「親子交流」を考える

#### ◆離婚をした親の状況と親子交流(面会交流)

- ・離婚する父母が対立(葛藤化)する傾向がある理由を知る
- ・親子交流(面会交流)の実施が難しいのがなぜか理解する

#### ◆「親子交流支援団体」は何を支援しているのか

- ・面会交流支援を必要としている父母と子どもの状況
- ・面会交流支援団体および支援の内容
- ・面会交流支援の役割

とても熱心に授業を受けていただいた生徒の皆さまに心より感謝いたします。



### 今後の活動に向けたメッセージ(抱負など)

授業終了後に数人の生徒が駆け寄ってきて「応援しています。頑張ってください！」と、お声かけいただけました。泣きそうになりました。これからも活動を頑張っていこうと思います。

若者市民協働意識醸成事業  
「学<sup>がっ</sup>！コラボ2025」  
校内実習

## 「学！コラボ2025」校内実習とは

生徒(高校生)が身近な地域で課題解決のため活動している市民活動団体を知り、理解し、共感することで、若い世代の協働意識や社会参画・貢献意識の醸成を図る「学！コラボ2025」を開催しました。その授業で学んだ生徒が、実際に市民活動を体感することでより一層理解を深めてもらうねらいで校内実習を実施しました。

### 1.若者市民協働意識醸成事業(学！コラボ2025)校内実習開催概要

(1)開催日時:11月13日(木)13:30~14:20

(2)開催場所:半田商業高等学校 体育館

(3)参加者数:半田商業高等学校 1年生167名、NPO 3団体15名

※詳細は、下表参照

NPO名	生徒人数	団体人数
半田災害支援ボランティアコーディネーターの会	62名	7名
おもちゃ図書館つみき	57名	6名
親子のふれあいと絆を大切にする会	48名	2名
計	167名	15名

## 2. 体験の様子

### 半田災害支援ボランティアコーディネーターの会

#### 【実施内容】

- ・災害関係の動画視聴
- ・防災マン体操
- ・VCの会活動動画視聴
- ・大型紙芝居
- ・質疑応答



【防災マン体操】



【大型紙芝居】

### おもちゃ図書館つみき

#### 【実施内容】

- ・おもちゃドクター入門講座
- ・おもちゃ修理の実例紹介



【おもちゃドクター入門】



【おもちゃ修理の実演】

### 親子のふれあいと絆を大切にする会

#### 【実施内容】

- ・団体と関わりの深い広島大学の高田恭子准教授による、子どもたちや親が置かれている状況や課題、社会的支援としての面会交流の必要性についての講義



【専門家による講義】



若者市民協働意識醸成事業

<sup>がっ</sup>  
「学！コラボ2025」

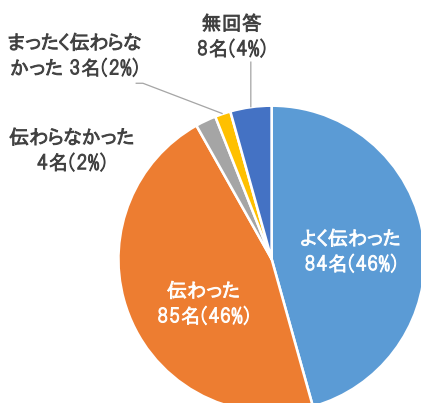
アンケート

# 学！コラボ2025 アンケート結果

## ◇回答：生徒（半田商業高等学校）

### 1. 授業(10/ 9)について (184名)

#### ①プレゼンを聞いて、活動の内容が伝わってきましたか？

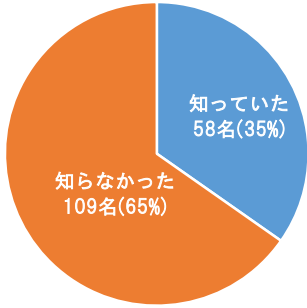


#### ②授業やNPOとの意見交換の中で、印象に残っていることや学んだこと、気づいたことはありましたか？（一部抜粋）

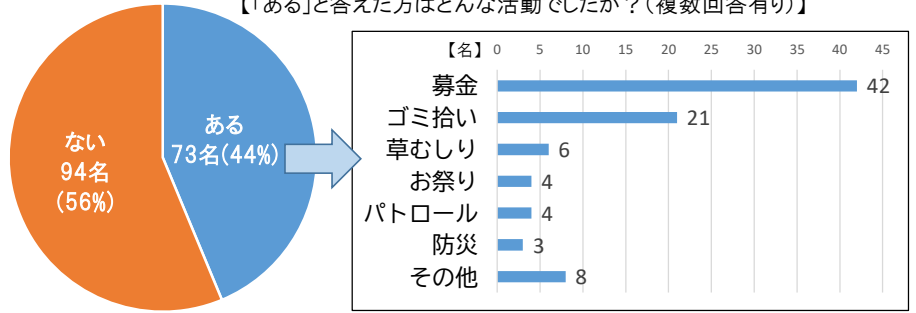
- ◇ 様々な社会課題の解決をしていくNPOという組織は、とても大事だと実感した。
- ◇ ボランティアとかが意外に身近にあって、これから挑戦してみようと思った。
- ◇ それぞれ今ある課題に向けて取組を行っていることがわかり、自分も参加してみたいと思った。
- ◇ 「災害に対応できる人づくり」という言葉を聞いて、自分もそんな人になれるように調べたり、ボランティアに積極的に取り組んでみたいと思った。
- ◇ 若い人の世代が大事なんだなと思った。
- ◇ 初めて知った団体活動があり、もっと広まってほしいと思った。
- ◇ 自分の身近な場所にたくさんのボランティアがいて、学生の私でも役に立てる場所があるので、もっとたくさん人のため、自分たちのためにできることをしたいと思った。
- ◇ 様々な地域活動がいて、それぞれ目標を達成するために、たくさんの努力をしていることを知った。自分も社会に貢献できるようになりたいと思った。
- ◇ 「誰かのために」という意見しかなくて、誰かのためにがんばっている人はあらためてカッコいいなと思った。
- ◇ 半田市でもいろんな活動をしている人がたくさんいると知った。おもちゃのことは初めて知ったので、小さいころに知っておもちゃを直してほしかったと思った。
- ◇ 今日3つのボランティア団体が発表してくれて、いろいろなボランティアの活動があるんだなと聞く前よりも思えた。私は中学の頃いろいろなボランティアをしてきたので、これからも地域のために続けていこうと思った。
- ◇ 災害に巻き込まれたとき、消防や警察は来るのが遅いので自分が積極的に動くことが大事だと知った。利益を求めず、誰かのために活動するNPOはすてきだと思った。
- ◇ 市民活動に参加しているすべての人が寄りそいあっていると感じた。自分も参加したいとあらためて感じた。
- ◇ 団体の活動内容がより一層分かり、この活動に協力したいと思った。
- ◇ 会えない親子や家族が多く、大人の事情で子どもが振り回されてしまう現状を見て、おかしいのではと思うことが多かった。今回色々な話を聞いて共感できることがとても多かった。ホームページなどを閲覧し、また色々なことについて知りたいと思った。

## 2. 校内実習(11/13)について (167名)

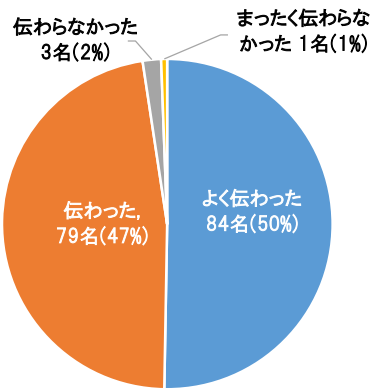
①地域環境や社会課題に取り組んでいる市民活動が、身近にあることは知っていましたか？



②これまでに、地域活動や募金などの社会貢献活動に参加したことはありますか？



③活動を体験して、活動の内容が伝わってきましたか？



④活動を体験して、印象に残っていることや学んだこと、気づいたことはありましたか？(一部抜粋)

### 【半田災害支援ボランティアコーディネーターの会】

- ◇ 非常用の防災カバンや伝言ダイヤル171について知らなかったので、良い勉強になった。
- ◇ 紙芝居や動画、説明がどれも分かりやすく、家族にも話しておこうと思った。
- ◇ 防災マン体操が面白く、楽しく防災について学ぶことができた。
- ◇ 災害はいつ起こるか分からないため、今から対策するべきだと思った。
- ◇ 地元の人だからこそ役に立てることがあると分かり、新しい学びになった。

### 【おもちゃ図書館つみき】

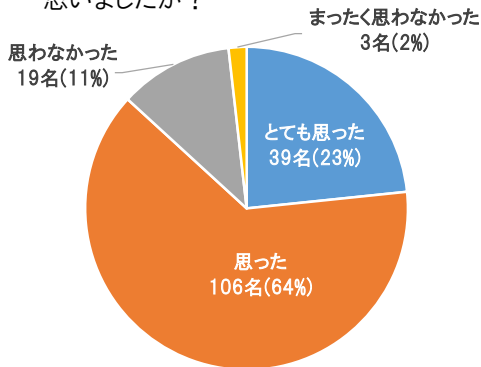
- ◇ どこが壊れているか調べるときに、身近にあるものを利用している点がとても印象に残った。
- ◇ スマホを使って動くかどうか確かめられると知り、高い技術が必要だと感じた。
- ◇ 小さいころ遊んでいたおもちゃには多くの部品が使われており、直すのに時間がかかると分かった。

- ◇ どんな依頼でも最善を尽くして丁寧に修理しているところがすごいと思った。
- ◇ 子どもたちのために頑張っておもちゃを直そうという気持ちが伝わってきた。
- ◇ おもちゃが壊れたときに頼れる団体が近くにあることを知った。

### 【親子のふれあいと絆を大切にする会】

- ◇ 親子の交流は損得ではなく、子どもたちのために行われているのだと思った。
- ◇ 子どもの意見を聞かずに親の都合だけで決めるのは良くないと感じた。
- ◇ 親子が安全に面会交流できるよう、団体が支援していることが分かった。
- ◇ 法律の重要性を改めて感じた。
- ◇ 子どもにとって、しんどい気持ちを本音で話せる環境が必要だと思った。

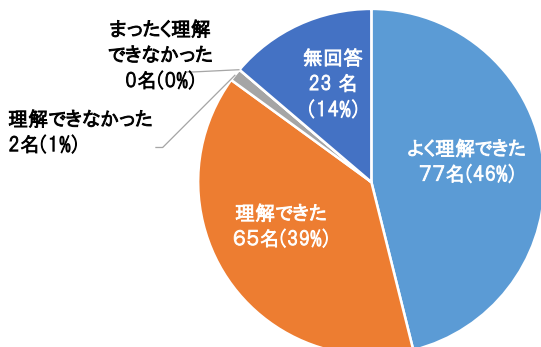
⑤体験した団体に限らず、自分も地域活動や社会貢献活動への行動を起こしてみたいと思っていましたか？



⑥どんなことをしたいですか？(一部抜粋)

- ◇ すぐできる募金から始めたいと思った。
- ◇ おつりを募金したり、少しでも協力したい。
- ◇ ゴミ拾いや草むしりなど、地域のためにできることをしたい。
- ◇ 地域の人たちと協力して活動してみたいと思った。
- ◇ 公民館が近いので、何かあれば手伝いに行きたい。
- ◇ 災害が起きた時に、人の役に立つことをしたい。
- ◇ 近所の人たちを助けられるようになりたい。
- ◇ 避難所までの道案内など、自分にできることをしたい。
- ◇ 子どものためになることに関わりたかった。
- ◇ 困っている人の話を聞くような活動にも関わってみたい。
- ◇ 何か人の役に立てることをしたいと思った。
- ◇ 今は関係ないことでも、他人事だと思わずにいたい。

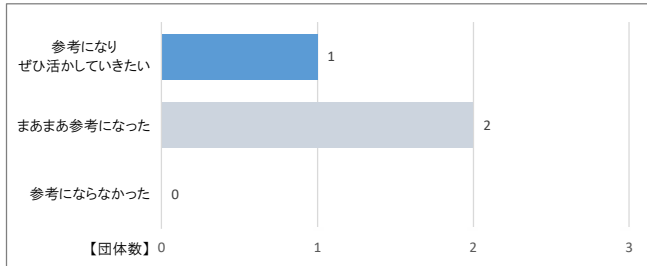
⑦社会貢献や協働について、理解ができましたか？



## ◇回答:NPO（3団体）

### 1. Zoom研修(8/22)について

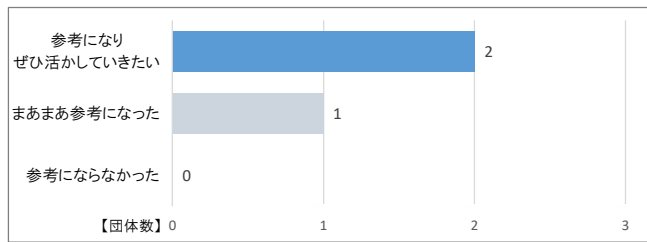
①ファンドレイジング(資金調達)について学びましたが、今後の活動に活かそうですか？



②なぜそう思いましたか？

- ◇ 発足時から資金援助をいただいている団体があり、この団体との関係で他の企業等に資金援助をいただくというのは不透明な面がある。
- ◇ ボランティア団体の資金源は、支援していただく団体からの援助しかない。活動内容のPR・存在価値を広報することにより、支援をお願いする事が必要だと思う。
- ◇ 普段の市民活動では自分自身で得れる情報は限られるので、詳しい方からレクチャーいただけることは何より有難かった。

③プレゼンについても学びましたが、今後の活動に活かそうですか？

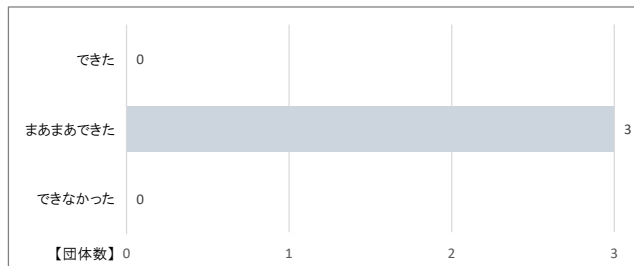


④プレゼン研修を受けたことで、どのようなことに気づきましたか？

- ◇ プレゼンテーションの流れから、一項目ずつ分けて考えることに気付いたと思う。
- ◇ 我々の思いを伝えるだけでなく、聞き手が何を聞きたいか、何を求めているかをプレゼンすることが大切だと思った。
- ◇ 客観的にみる視点を持つことを念頭に常に置かないと、自己満足になってしまっていることに気づかないことを気づかされたと思った。

### 2. 授業(10/9)について

①高校生に向け、活動内容を思いのとおりにプレゼンすることはできましたか？



②なぜそう思いましたか？

- ◇ 早口にならずゆっくり話すことができ、少しは理解が深まったと思うが、時間配分がうまくいかなかったのが残念だった。
- ◇ 伝えたいことのプレゼンは出来たと思う。対象が1学年全員で、みんながみんな関心があるわけではないので、この点が難しかった。プレゼン時間が短く、もう少し活動の内容を伝えたかった。
- ◇ 終了後に頂戴したアンケートに、活動に賛同いただけるコメントをいただけたことが分かり、「まあまあできた」かなと思っていいのではないかと思った。ただ、贅沢を言うと、持ち時間が足りなかったと、その場では感じていた。もちろん、長ければよいだろうということでもないが。

③生徒との意見交換にあたり、印象に残っていることや気づいたことはありましたか？

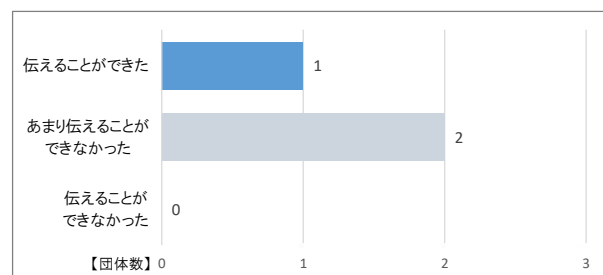
- ◇ 能登半島の地震に対する活動(会長が能登半島のボランティアに参加した)について、個別に聞いてきたことが印象に残っている。
- ◇ 「おもちゃの修理」について、生徒さんはあまりピンとこない中、何とかして意見を出してもらえるよう苦労した。「おもちゃ図書館を小さい時に利用したか」とか、「おもちゃの修理だけでなく、おもちゃの貸出業務、子どもと一緒に遊ぶことからでも参加できる」など関心を持ってもらえる雰囲気づくりから入るのがいいと思った。
- ◇ 複数の生徒さんに駆け寄っていただけて支援活動へのエールの言葉を頂戴したことが、忘れられない思い出になった。

④今回の高校生へのプレゼンで、特に気をつけた点は何かありましたか？

- ◇ プレゼンする時間が限られていたので、全体の流れを意識した。
- ◇ 若い学生にいかに興味を持ってもらえるか、子どものころに利用してもらったことがあるかを内容に加えた。
- ◇ 言葉足らず、舌つたらずになっても、とにかくパッションで、お伝えしようと思いのぞんだ。

### 3. 校内実習(11/13)について

①自団体の活動を伝えることができましたか？



②なぜそう思いましたか？

- ◇ 私たちには数多くのコンテンツがあるので、代表的なものを伝えたのみで、すべてを伝えることはできなかった。かといって、コンテンツを示すだけではその内容が伝わらないので、致しかたがないと思った。
- ◇ なにより事情に精通していて、且つ研究をされている先生にお話ししていただけたことが、一番よかったと思う。

#### 4. 事業を通して、気づいた点はありませんか？また、今後の活動にどのように活用できそうですか？

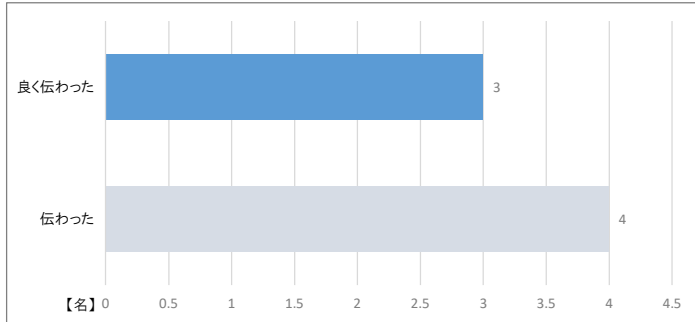
- ◇ 全学年の希望者に対して、授業後から帰宅までの時間を少しいただいて、防災教室を開いてみたい。そこで、紹介しきれなかったコンテンツ等を紹介したい。
- ◇ 若い世代に我々の活動に興味を持ってもらい、協働意識・地域の活性化に貢献できるような活動ができたらいいと思う。「親子で参加 おもちゃ修理教室」の定期的な開催が決定できたので、これを活用していきたい。
- ◇ 若い方々との接点が、普段の暮らしでも活動でもないのが、貴重な機会をいただいた。今後の活動に活用できそうかという点は、生徒さんたちの語らいの時間がさすがになかったのが、具体的には見いだせないが、ただ、生徒さんたちのアンケートでは、面会交流支援をのぞむような意見をいただけことで、勇気をもって今後も活動をできそうである。

### ◇回答:職員（半田商業高等学校 7名）

#### 1. 授業(10/ 9)について

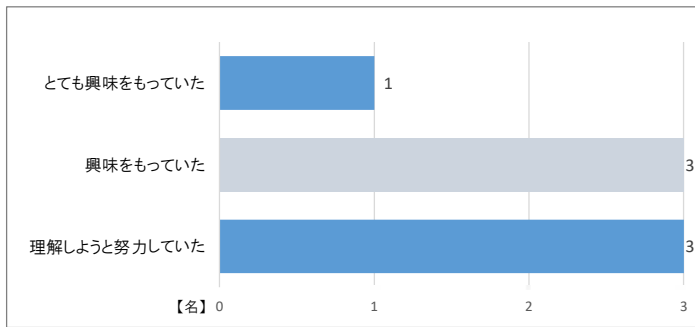
①NPOのプレゼンは、高校生にとって伝わりやすいものでしたか？

②なぜそう思いましたか？



- ◇ 団体の方の強い思いが伝わってきたから。
- ◇ 団体の思いや伝えたい要点は理解できた。
- ◇ 内容がわかりやすくまとめられていたから。時間的にもちょうど良い。(長いと生徒が飽きてくるから。)
- ◇ 紙芝居や曲などによる工夫があったから。
- ◇ プレゼン終了後の生徒の反応が良かった。「境遇が同じだから」「友達もひとり親だから」等。
- ◇ 高校生にもわかりやすい内容で、生徒の感想も理解が深まったという意見があったため。

③生徒の反応はいかがでしたか？

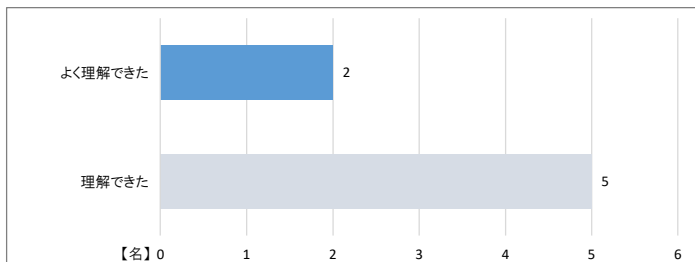


#### 2. 校内実習(11/13)について

良かった点や気になった点はありませんか？

- ◇ 高校生に難しい内容もあったが、自分ごととして考えていた。
- ◇ メモをとる姿があった。生徒参加型は特に盛り上がっていた。
- ◇ 生徒は真剣に聞いていた。どの講座も生徒が興味を持つよう考えられていたと思う。
- ◇ 体を動かす機会があったり、紙芝居は良かったと思います。
- ◇ 自分の興味のある話だったので、とても前向きに聞いていた。
- ◇ 生徒が楽しんで、活動を理解できるような工夫があってよかった。マイクの大きさはもう少し調整が必要だと感じた。

#### 3. 事業を通して、社会貢献や協働について、先生方の理解は深まりましたか？



半田市若者市民協働意識醸成事業

がっ  
「学！コラボ2025」事業実施報告書

2026年2月

主 催：半田市企画部市民協働課

受託団体：特定非営利活動法人中部プロボノセンター